

第6回 経営強化のためのDXゼミ  
どこから始める？

## 中小製造業のSDGs・脱炭素への取り組み

日時：令和6年10月1日(火)定員：70名

13:30～16:50 (受付13:00～)

場所：ホテルアバローム紀の国 2階 鳳凰の間

内閣官房が発表した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」のなかでは、「グリーン成長戦略を支えるのは、強靱なデジタルインフラであり、グリーンとデジタルは、車の両輪だ」としています。脱炭素経営のひとつとしてDXが重要な役割を持ち、DXの推進が結果として温室効果ガス排出量ゼロにつながるということを意味します。SDGsも同様です。そこで本ゼミでは、皆様の脱炭素、SDGsの活動の参考にしていただくべく、SDGsの実現を目標に活動をしている身近な企業にお話をいただきます。初めに(株)テクノソフトから、中小企業にとってのビジネスチャンスとしての脱炭素への早期取り組みの意義について概説いただきます。またオムロンソフトウェア(株)は、製造業で脱炭素への取組を推進するうえでカギとなる指標“エネルギー生産性”の説明と、それを向上する手法を紹介します。

続いて、アルミ製コンデンサ部品を製造する中小町工場である来ハトメ工業(株)は、年間400トン排出していたCO<sub>2</sub>を8年間で10トン以下まで低減し環境大臣賞を始め数々の受賞をした、その取り組みの内容を詳細かつ具体的に紹介いただきます。最後に県内企業を代表して、オーナメントチョコレート国内シェア60%を生産している(株)たにくちに、脱炭素をはじめSDGsのさまざまな取り組みを行い、着実にその成果をあげている事例を具体的にお話しいただきます。この両社の事例は皆様の企業のSDGs・脱炭素の活動におおいに参考となると思います。

時間	講演
13:30	開会挨拶
13:35 ～14:20	◆ 松谷 和夫氏 株式会社テクノソフト 業務部長 兼 大阪事業所 営業部 統括部長 「SDGsの中で注目されるカーボンニュートラル」 ～早期取り組みは中小企業のビジネスチャンス～
14:20 ～14:50	◆ 平原 佳幸氏 オムロンソフトウェア株式会社 ITソリューション事業部 データイノベーション推進部 データ活用ソリューショングループ グループマネージャ 「脱炭素への鍵となる指標“エネルギー生産性”と、向上の取組ご紹介」
	(10分間休憩)
15:00 ～15:55	◆ 石原 隆雅氏 来ハトメ工業株式会社 管理部課長 兼 環境管理責任者 「秘伝！CO <sub>2</sub> 99%削減の術～知識ゼロから挑戦した脱炭素化の全記録～」
15:55 ～16:40	◆ 谷口 壽氏 株式会社たにくち 代表取締役会長 「わが社のSDGsの取り組み」
16:40～	閉会挨拶・名刺交換

【問合せ・申込み先】(公財)わかやま産業振興財団 地域活性化雇用創造プロジェクト 担当：田辺 田中

TEL：073-433-8556/FAX：073-433-8557

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 フォールテワジマ6階

E-mail：chi-pro@yarukiouendan.jp

※お申込み方法等につきましては、裏面をご覧ください。

※よろず支援拠点による個別経営相談コーナーを当日設置します。

【主催】和歌山県 / 公益財団法人わかやま産業振興財団 (地域活性化雇用創造プロジェクト)

【共催】きのくに信用金庫 株式会社紀陽銀行 株式会社商工組合中央金庫 新宮信用金庫

株式会社日本政策金融公庫 和歌山県よろず支援拠点 (五十音順)

## 講師紹介

### 松谷 和夫氏

株式会社 テクノソフト  
業務部長  
大阪事業所  
営業部 統括部長



1985年(株)クラレ入社。化学品のアジア諸国への輸出並びに業績管理業務に従事。その間、シンガポールの化学品製造販売子会社に通算10年駐在。2003年にクラレの子会社でISOのコンサルティング会社である、株式会社テクノソフトに出向、転籍。「ISOで日本を元気に」をモットーに、営業担当として関西の中小企業がISOを取得するのを支援している。2019年中小企業診断士登録。(一社)大阪府中小企業診断協会に所属し、同協会内のISO研究会、SDGs研究会、BCP研究会、健康経営研究会等において知識の習得及びそれらをいかに中小企業の経営に役立てるか研究している。

### 平原 佳幸氏

オムロン ソフトウェア株式会社  
ITソリューション事業部  
データインベーション推進部  
データ活用ソリューションG  
グループマネージャ



2008年オムロンソフトウェア株式会社へ新卒入社。2015年までデマンド監視システムの開発やシステム保守業務に従事。2016年から4年間、オムロン生産戦略部門にて生産データを活用した工場生産性改善PJをオムロングループ国内外生産拠点に対して行い、間接生産性の向上に寄与。これらの経験をもとにグループ内外の工場IoT化や業務改善を行う製造業向けSEとして活動を行い、現在に至る。現在はオムロン国内工場にて、脱炭素に向けてエネルギー生産性を向上させる取組を適進中！

### 石原 隆雅氏

来ハトメ工業株式会社  
管理部課長 兼  
環境管理責任者



1976年生。5年半の商社勤務を経て2005年来ハトメ工業(株)入社。2010年環境管理責任者に就任。以後、数々の環境関連各賞の受賞に貢献。2023年の『脱炭素チャレンジカップ2023』においては最高賞の「環境大臣賞グランプリ」受賞に導く。これらの取組は、環境省「SDGs活用ガイド」、「中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック」にも掲載、中小企業の環境経営のトップランナーとして躍進する企業の推進役として現在も様々な取組を推進している。2020年には、エコアクション21審査員試験に合格。現在、企業の環境管理責任者とエコアクション21審査員という前代未聞の二刀流に絶賛挑戦中！

### 谷口 壽氏

株式会社 たにぐち  
代表取締役会長



1974年菓子原材料卸問屋谷口商会(個人企業)就労。1979年株式会社たにぐち設立入社。1980年菓子原材料卸問屋で培ったノウハウを基に徳島市にチョコレートの加工工場、徳島工場竣工・稼働、全国へ販路開拓。以後4工場順次稼働。1983年印南工場、1989年川辺工場(現和歌山工場)稼働。2010年代表取締役社長に就任。2013年日高川工場稼働、2019年冷凍倉庫兼倉庫完成、2021年代表取締役会長に就任。2023年バイオマストレー成型工場稼働。

## 申込書

9月26日(木) 締切

右記あてに **FAX** または **メール**  
にてお申込みください。

FAX: 073-433-8557

E-mail: chi-pro@yarukiouendan.jp

※FAXの方は、下記申込書に必要事項を記入の上、送信してください。

※メールの方は、タイトルを「DXゼミ 申込み」とし、下記事項を本文に記入の上、送信してください。

企業/団体名		
住所・電話番号	〒	
Eメール(代表の方)		
申込者	①氏名	
	所属・役職	
	②氏名	
	所属・役職	
よろず支援拠点への相談	希望する	希望しない

※ご記入いただいた情報は、本ゼミに関する連絡・記録のために使用するほか、各種情報提供のために使用することがありますのでご了承ください。

## 会場案内

ホテルアパローム紀の国  
2階「鳳凰の間」

073-436-1200  
和歌山市湊通丁北2-1-2

